



授業担当者

問題作成者



# テストが「対話」。 「対話」が育てる学びって？

採点スタッフ



学習  
アドバイザー



いっぱい、いろいろ考えて出した答えなのに……「×」。なんで!? がっかり……テストだから仕方がない?  
ところが、○×だけでなく、コメントで、そこからまた「考える」がすすむテストがあるといます。  
テスト問題と子どもの答えとコメントとの「対話」が、学びを育てるとも——。  
朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。

## 答えを考える、その「プロセス」が 「その子自身」だから

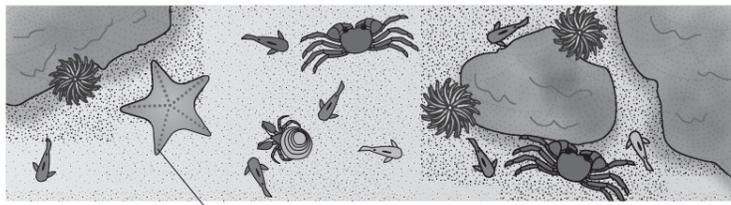
アタマもココロもフル回転して出た「答え」。突飛だったり、うなせられたり、感動させられたり。「これがワタシの答え!」と、着地までのグルグル時間——ああでもないこうでもないと考えに考え、着地点を繰り返していった「プロセス」はまさに「その子自身」! なのに、模範解答に合わせて機械的にただ○か×かに振り分けるだけなんて……。 「答え」を大切に、「その子」を感じる——「読み取りづらいけど、伝えたいことは……」考えた足跡を想像し、内側に入り込んでみる。「その子」が見えてくる。「あっ、ここに注目したのか?」「こう考える方法もあるのかな?」。子どもを感じながらつける印「○」「×」「✓」「○☆(ハナマル)」「×☆(ハナバツ)」。<sup>※1</sup>

その印を基に、また「対話」が始まる。「考えて、考えて、でもいよいよ書くときに迷ったかな?」「おしい! このキーワードが入らなかったからズレちゃったかな」「なるほど! さらに詳しく知りたくなったよ——」「プロセス」との「対話」がコメントになるから、子どもたちも受け取り、また「考える」が動き出す。「言い換えてみると……? あ、そっか!」「同じこと言っているみたいでも、こっちの方がわかりやすいな」「えー、じゃあ、次はこうしてみようかな」。

自分で、仲間同士で、学び合う場「プロセス」をつくる授業担当者。一人の子どもの向き合い、多角的な視点で学びを促進する学習アドバイザー。「学びを楽しむ」を動かすテスト問題をつくる問題作成者。「プロセス」を想像し、気持ちにも寄り添う採点スタッフ。——そしてコメントが子どもの循環的な学びを刺激する。テストを道具とした「対話」が、これからの全体的な学びに必要なフィードバックのかたちであると日能研は考えています。

## 問題

あゆさんたちは、小さな水そうをのぞきこんでいます。



ヒトデ

(3) あゆさんは、とも君に、ヒトデがどれなのかを説明しようとしています。ヒトデについて、図から読み取れることをもとに、あなたが、あゆさんにかわって説明してみましょう。

(2016年6月実施 日能研全国テスト3年生の問題より)

## 「私」という、 それぞれのチカラ

答えが表す「その子」は、一部分。その部分を通じてそれでも「その子」を少しでも多く知りたい、引き出したい。子どもが課題を設定し、筋道を立てて考え、表現する「プロセス」に見え隠れする「その子自身」。答えが一つに定まらない記述式だから。日能研が徹底的にこだわる理由です。

〈問い=状況〉に対して、「自分」を思う存分、思うがまま発揮してほしい——同じ想いは、多くの私学の入試問題にも。均一化されていない「私」。多様性は未来へのチカラになる。シナジーを生み出す、仲間と協働する源になる。

「答え」「考え方」や「表現の仕方」は子どもの数だけ存在するのです。だからこそ。自由に考え、答えられるように。多様に、複数の視点で、スタッフがその「プロセス」を知ろうと向き合い、「対話」が始まる。その「対話」から子どもの気づきが生まれ、「私」は次への学びにつながる。——日能研は、(DI(デジタルイメージ)学習支援システム)<sup>※2</sup>で、多様な学びを伸ばす関わりを実現しています。

子どもの学びを真ん中に。テストを学びの道具にする。もともと「考える」が楽しくなるように、もともと「私」を表現する「私」に、そして「自ら学び進む人」となるために。日能研のテストは、コメントという人間としての関わりでもフィードバックし、子どもたちの学びを豊かに育てています。

※詳細は日能研ホームページをご覧ください。  
※1 <http://www.nichinoken.co.jp/learning/concept/di/gss.html>  
※2 <http://www.nichinoken.co.jp/learning/concept/di/index.html>

## 子どもたちの解答

「ほしみたいなたちがヒトデを見つけるヒントになりました! やどかりの近くにいるさかなは、何ひきかいるように見えるなあ……。どのおさかなかな? もうちょっとくわしくしたいな!

ひてはほしみたいなたちがやどかりの近くにいるさかなのなめしたよ。

左から2番目にいるよ。星の形をしていて、丸いようがいくつかあるよ。

水そうの中であまり動かないものに注目して、左から2番目にいると気づいたんだね。ほかにもいろいろな見方ができそうだよ。たとえば、ヒトデの左ななめ下に泳いでいる魚のことも考えてみると……!?

上から見たのではなく、横から見た場合にヒトデがどこにどんなふうにいるのか、よくわかる説明だね。視点を変化させると、同じものでも、ちがう一面が見えてくることもあるわ。

ヒトデの形のとくちょうをかくと、ほかの生きものとのちがいがはっきりするね。



## そうか!

○×だけでなく、「対話」を生むコメントで、「私」の学びを豊かに育てていくんだね!

2月新学年スタート! 準備はこのテストから

# 日能研 全国テスト

参加  
無料

1/9 祝月  
小2 小3 小4 小5

【科目】2科目(国語・算数)  
【会場】お近くの日能研各校  
【時間】1回目 9:00集合  
2回目 13:00集合  
※会場により時間が異なる場合があります。  
詳しくはホームページをご覧ください。



## 保護者会同時開催!

今回のテストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

テストの詳細・お申し込みは  
日能研 検索

または  
お近くの日能研へ!  
スマートフォンからはこちら

学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

